

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO



創 立：1980年(昭和55年)11月10日
 会 長：泉 憲二
 幹 事：亀井 直人
 副幹事：山回 哲司
 例 会：日 毎週木曜日PM12:30～
 会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
 T E L：052-211-3803
 F A X：052-211-2623
 M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1611回例会

～会員増強及び拡大月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2013年8月22日(木) 晴 第7回

- 司 会：梅村昌孝会場委員長
 齊 唱：「四つのテスト」「それでこそロータリー」
 ゲ ス ト：ガバナー補佐 川原弘久さん
 地区副幹事 杉田明弘さん
 西名古屋分区幹事 松尾雄二郎さん
 西名古屋分区副幹事 和田直美さん
 ビジター：名古屋RC 野崎康生さん
 酒井俊光さん

会長挨拶

泉憲一会長

みなさん、こんにちは。今日は、冒険家でプロスキーヤーの三浦雄一郎さんの話をさせていただきます。

私は先日、証券会社主催の「三浦雄一郎氏 エベレスト世界最高年齢登頂祝賀会」に招待され、直接三浦さんの登頂された話を聴く機会をもちました。その時のことをお話ししたいと思います。

三浦さんは昭和7年青森生まれの80歳です。2003年、当時の世界最高齢70歳でエベレストに登頂し、2008年には75歳で再登頂に成功し、そして2013年に3度目の登頂を成功されました。「80歳で誰もやったことのない目標に挑み、その結果、頂上にたどり着けば最高だ」という三浦さんの信条が原動力になったようです。その原動力とは、三浦さんは50代～60代半ばまでメタボな体型で、65歳の時について医師から「このままの生活だと、あと5年の命です」と忠告されてしまいました。この余命宣告で一念発起し、70歳でエベレストに登ろうと目標を立てたのです。そして70歳、75歳で見事エベレストに登頂しましたが、76歳の時には、スキー中の転落事故で骨盤3ヶ所とろっ骨を骨折されました。全治6ヶ月と宣告されましたが、2ヶ月半で退院し、半年後にはトレーニングを再開しました。さらに80歳になった昨年の秋、持病の不整脈が再発し、多くの医師が口をそろえて「この心臓でエベレストなんて無理に決まってる」と言う中、日本中の医師を駆け回り2人の医師と出会いました。「手術をすれば可能性はある」との言葉に全てを賭けたのです。そして、昨年末から今年始めにかけて4回の心臓手術を行いました。4回目の手術は1月15日に行われ、出発のタイムリミットギリギリでした。術後2ヶ月ほどで、予定通り3月29日に日本を出発するという、「どうしても登りたい」という三浦さんの精神力の強さを感じました。

なにかとその肉体の強靱(きょうじん)さに注目される三浦さんですが、それを陰で支えた人達が大勢いました。冒頭でお話ししました



祝賀会で、三浦さんが登頂されているビデオを15分ほど観させていただきましたが、そのスタッフの多さに驚かされました。全部で30名以上いるそうです。すごいプロジェクトで臨んでいることに感心させられ、このスタッフ一同がなんとしてでも、今回の登頂を成功させるんだという意気込みを感じました。

日本からの同行者は次男豪太さんを筆頭に、エベレストに数回登ったことのあるスペシャリストばかりが7、8名ほど集められました。登攀リーダーや医師、カメラマンや通信担当、記録や気象情報担当、食料、荷物、ヘリコプターの手配担当など、一流の登山家達が徹底的に裏方に徹していました。その他にもシェルパと呼ばれるネパールからの現地サポートが13名、コックとキッチンに5名、そしてベースキャンプサポートメンバーである長男雄大さんは通信技術士として、東京の事務所で待機している姉の恵美里さんに映像を送信し、そこから日本のマスコミや世界へもリアルタイムで発信されていたのです。多くの人に支えられて三浦さんは見事史上最高年齢80歳で、エベレスト登頂を果たしたのです。

無事に帰国して記者会見した三浦さんは、「無理しなくちゃ頂上に行けないし、死ぬぐらい苦しめない生きて帰れない世界。命がけで夢を達成できた」と笑顔で振り返りました。共に登頂した次男豪太さんも、「健康は守っただけでは保てない。いくつになっても夢をもち、思い切ってやってみる勇気と元気が大事」と実感を含めて言いました。

誰もが歳をとる度に気弱になりつつありますが、三浦さんは80歳にしかなれないこと、すなわち誰もやったことがないことに挑戦して、輝き続けています。こんな挑戦の心をもった三浦さんと直接話をする機会を持った事に感動しましたし、そしてすっかりファンになりました。今回はこの偉業を成し遂げた三浦さんのご家族についてお話ししたいと思います。

幹事報告

亀井直人幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にてガバナー補佐との第2回CA、第2回理事会を行います。
- ・8月29日(木)はなごやか例会を行います。
- ・ロータリー財団より地区補助金210,573円が振込まれました。事業名は「南三陸町に防波堤の役目をする苗を植樹する」です。

出席報告

高木元明出席委員長

会員63名 出席40名 (出席計算人数46名)

出席率 78.4% 8月 8日は補填により 96.4%

ニコボックス

高木元明ニコボックス委員長

- ・川原弘久ガバナー補佐、杉田明弘地区副幹事、松尾雄二郎西名古屋分区幹事、和田直美西名古屋分区副幹事よりご祝儀を頂きました。

- ・川原ガバナー補佐をお迎えして **泉 憲一さん**
- ・川原ガバナー補佐をお迎えして **近藤 雄亮さん**
- ・川原ガバナー補佐をお迎えして **長瀬憲八郎さん**
- ・①杉田地区副幹事さんを歓迎して
- ②先週は花火大会で帰宅困難者になりました。
- ③例会の欠席が続いております。 **本多 清治さん**
- ・地区副幹事杉田さん、ご苦勞様です。 **関谷 俊征さん**
- ・本日の訪問者名古屋RC野崎康生は私の甥っ子です。お見知り置き程宜しくお願い致します。 **野崎 洋二さん**
- ・いつも叔父の野崎洋二が大変お世話になっております。今年6月よりロータリアンの仲間入りをさせて頂きました。今後とも叔父共々宜敷お願い致します。 **名古屋RC 野崎 康夫さん**
- ・山口哲司さん、先日は大変お世話になりました。楽しかったです。 **大嶽 達郎さん**
- ・ごぶさたです。イチローおめでとう。鈴木淑久君、先日ごちそうさまでした。 **山口 哲司さん**
- ・先週1週間スイスに行って来ました。晴天に恵まれ全ての雄大な山(モンブラン、マッターホルン、アイガー、ユングフラウ等)を全て見る事ができました。又大変涼しかった!! **伊藤 豪さん**
- ・夏休み、北陸に行って来ました。北陸でも暑いのは同じでした。頑張りましょう。 **神田 広一さん**
- ・お盆は仕事を頑張っていました。 **鈴木 淑久さん**
- ・三好CCで朝プレーをしてきました。上着を忘れてきました。 **内田 久利さん**

卓話 **ガバナー補佐 川原弘久さん**

2013年-2014年度ロータリー2760地区西名古屋分区のガバナー補佐を拝命致しました丸の内RCの川原弘久でございます。ガバナー補佐は地区委員会活動の分担がありますが、小生は米山奨学委員会の担当になりました。まずは今期のRIテーマについて説明させていただきます。RI会長ロンD・パートンは”Engage Rotary, Change Lives”(日本語訳:ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を)をテーマとしています。小生は日本語訳より原文そのままの方が意味は深いと思っています。特に”Change Lives”という言葉は魅力的です。このテーマはとかくこれまでのRI会長の抽象的なテーマと比して実践的です。ロンD・パートン会長はこのテーマのもとに



1. 会員増強の推進
 2. ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実
 3. ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化を強調しています。
- 一方、第2760地区2013-2014年度ガバナーは「磨いて輝こう」と具体的な方針を示されており、

1. 会員の意識向上
2. クラブのパワーアップ

3. 地区の改革

4. 会員増強

を強調しています。

その他に2760地区の方針としてロータリー財団寄附、米山奨学会の寄附目標、新地区補助金を使って東日本大震災支援を要請しております。ここで小生の担当であります米山奨学委員会からお願いがあります。現在米山奨学会は寄附額の大幅な落ち込みにより当地区では奨学生が33名から23名に、全国的にみると1,000名から700名に減少しています。寄附金の大幅な落ち込みは、基本的には会員の減少にあると小生は感じております。従って、この立場からも会員増強をお願いしたいところであります。国際ロータリーは現在、123万人のロータリアンを3年計画で130万人(2015年)にする計画が進行中であり、日本でも現在の会員数86,700人から95,900人にする計画です。大変困難な事業ではありますが、御協力を御願い申し上げます。しかし、至近的には会員増強も簡単ではないので、米山奨学会は個人寄附目標を2万円に設定したいと考えており、ご無理な金額ではないと思いますので御協力の程お願い申し上げます。

最後に名古屋和合RCの企画で「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」というイベントが2013年11月2・3・4日に予定されており(名古屋・栄の久屋大通公園)、これに地区は協賛することになりました。これはRIの優先目標である「公共イメージと認知度の向上」の補助金が、世界中の審査から選ばれたものです。このイベントのチケットは1枚2,000円ですが、うち200円はチャリティーに回ります。このイベントは一般市民も参加可能であり、一般市民との交流の中でポリオプラスなど、RIのこれまでの成果を宣伝し、RCを市民の中に定着させることのできる画期的な事業です。会員皆様の積極的な御参加をお願いし、私のガバナー補佐卓話とさせていただきます。

ガバナー補佐との第2回CA

クラブ奉仕委員会: 大嶽達郎副委員長

クラブ奉仕委員会を年2回開催予定です。

出席・ニコボックス委員会: 高木元明委員長

ニコボックスも順調に集まっておりますので、皆様に感謝しております。

会員増強及び維持・会員選考・職業分類委員会: 平野好道委員長

会員推薦の手順は第3段階に進んでいますので、この後の理事会で宜しくお願い致します。皆様からの新会員の推薦をお願いします。

クラブ広報委員会: 山口哲司委員長

今年度はゴルフ部会の成績を載せていきますので、様々な活動の報告などあれば、ウィークリーの方に載せていきたいと思っております。

親睦活動委員会: 大嶽達郎委員長

8月8日に第1回目の夜間例会である親睦例会を行いました。これからも皆様の意見を聞きながら進めていきたいと思っております。

プログラム委員会: 鈴木淑久委員長

上期の卓話は皆様のご協力により全て決まりました。下期はまだ枠がありますので皆様ご協力の程宜しくお願い致します。

R情報・研修委員会:天野正明委員長

当委員会では昨年度、18名の会員の研修を致しました。今年度の研修内容は、他クラブ例会に出席した感想を一人5～6分で卓話をして頂きます。ガバナー年度の心構え、他クラブとの交流に慣れて頂く意味もあり、このような形の研修を計画致しました。

会場委員会:梅村昌孝委員長

今の所、皆さんのご協力を得まして、順調にきていると思います。また何かご意見ございましたら、宜しくお願い致します。

職業奉仕委員会:伊藤豪委員長

地区の職業奉仕委員長会議は明日でございますので、出席して参ります。そして、職業奉仕委員会の原点であります「4つのテスト」を第3週目の例会では唱和して職業奉仕の意義を高めていきたいと思っております。それから今年は職場例会を企画致しました。後程行われる理事会にてご承認を頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

社会奉仕・環境保全委員会:八木沢幹夫委員長

「森の防波堤プロジェクト」で、どんぐりの育苗をしています。現時点の発芽状況はあまり良くないそうなので、もう少し情報交換をして、必須条件をもう少し整えていきたいと思っております。

青少年奉仕・ローターアクト委員会:市岡正蔵委員長

青少年奉仕としましては、臨時理事会において、交換留学生を受け入れるということが理事会で承認されました。交換留学生については今年度の行事ではないですが、今年度のオリエンテーション等で受け入れに関すること、送り出しに関することがあると伺っていますので、地区からの指示に従って今後活動をしていきたいと思っております。ローターアクトの活動計画に基づいて、ローターアクトの例会に出席するというをメインに行っています。

国際奉仕委員会:近藤茂弘委員長

11月7日に台北延平RCの方が来日することになっていますが、昼間の例会から夜間例会への変更のご承認頂き、ありがとうございました。後程、理事会の方にて開催場所等の案件を出したいと思いますので、宜しくお願い致します。

R財団委員会:岩田修司委員長

特にございませんが、8月の初めに「森の防波堤プロジェクト」に対する地区補助金が下りたと報告されています。

米山奨学委員会:田中政雄副委員長

本日、ガバナー補佐からのお話に奨学金についてありました。それについて、名古屋瑞穂RCとしましても皆さんのご協力を仰いで、一人でも多くの人に、より良い米山奨学生になって頂きたいという希望を持っております。

長期ビジョン委員会:本多清治委員長

特にございません。

川原弘久ガバナー補佐より

会長に懇談会で申し上げましたが、私は名古屋瑞穂RCは素晴らしい活動が2つあると思います。1つは長期ビジョン委員会です。この中で検討してガバナーを出そうという動きが出てきたというのは素晴らしいと思います。もう1つは社会奉仕・環境保全委員会です。「森の防波堤プロジェクト」です。なかなか進まないというお話がありましたが、実は環境保全はどこも何をやっていいかわからないという所

が正直あります。先日、4クラブ訪問致しましたが、具体的なプロジェクトを持っている所はございませんでした。その点、名古屋瑞穂RCは具体的なプロジェクトを作って動いているということで非常に私は感動致しました。失敗は成功の元と言います。様々な失敗があるかもしれませんが、2760地区で成果を公表して頂けたら非常に有り難いと思います。先程、例会で時間がなく話ができなかった会員増強の問題ですが、私はなかなか難しいと思っています。昨年度田中作次さんがRIの会長をされておりました。2002年に123万人のロータリアンがいましたが、国際RCはそれを3年計画で130万人に増やす増強計画を立てております。それを受けまして、日本では「サクセス・ジャパン大作戦」という名称で会員増強に取り組まれています。日本の目標は会員数が8万6,700人を、平成25年末で9万5,900人にするというであります。今年度は4,050名増強ということで、私は極めて困難なことだと思っております。

実は名古屋RCの天野幹事から良いご指摘がございました。RIは成熟した国と新興国で同じレベルで会員増強はできるものかということでした。ロータリアンの数と経済状況は比例していると感じ、天野幹事のご指摘はごもっともだと思っています。会員増強をしていましたバスターガバナーも基本的にはそのような考え方を持っています。私はバスターガバナーの考え方に賛成です。クラブを作るまでは良いですが、作った後は大変ですから、それは慎重であるべきだと思います。

名古屋瑞穂RCはガバナーを出されますので、目標の会員増強は3名ということで結構だと思います。RI会長、2760地区会長共通の目標の1つである会員増強に取り組んで頂きたいと思っております。どうか宜しくお願い致します。

杉田明弘地区副幹事より

私は西尾RCからガバナーになっているということで、副幹事をさせて頂いています。改めて宜しくお願い致します。各分区分を担当する以外に各委員会をそれぞれ担当させて頂いており、私の場合は、国際奉仕と社会奉仕(RCC、環境保全含む)の担当をしています。知識、情報はあるかと思っておりますので、また宜しければご質問頂いても結構かと思っております。そして、国際奉仕ということでRI会長賞に挑戦されるのことで楽しみにしております。合わせて、昨年は世界大会がリスボンで行われ、来年はシドニー、そしてその次がサンパウロです。シドニーは近くて、時差もなく、行きやすい所ですので、皆さん、今年はシドニーの世界大会へお出かけ頂きますようお願いしたいと思っております。

松尾雄二部分区幹事より

各クラブを周らせて頂いて、感じるものがあり、今回も羨ましく思った事がございます。会議が非常に早いと思います。これは日頃のコミュニケーションが余程良く、皆さん同じスタンスで働いているんだと感じさせて頂きました。この傾向を他のクラブで宣伝して参りたいと思っておりますので、続けて頂ければと思います。本日は勉強になりました。ありがとうございました。

和田直美分区分副幹事より

1つ質問させて頂きたいのですが、ニコボックスの集まりがとても良いのですが、何か秘策はありますか。4RC周らせて頂きましたが、名古屋RCが会員数で割ると一人辺り¥22,000、名古屋南RCは¥20,000、名古屋東南RCは¥16,000、名古屋瑞穂RCは¥37,000ですね。仲が良いということですね。

会長・幹事懇談会

例会前、川原弘久ガバナー補佐、杉田明弘地区副幹事、松尾雄二郎西名古屋区分区幹事、和田直美西名古屋区分区副幹事をお迎えして会長・幹事懇談会が行われ、有益なご指導を賜りました。



を捉えています。ロータリーの奉仕とは、自分のクラブ内だけに限定されるものではありません。私たちが人々のために行うことはすべて、よりよい世界の実現につながります」



国際奉仕に取り組む、人々の基本的ニーズを満たすことを通じて、ロータリーは日々、平和の実現に向けて貢献していると田中会長は続けます。会長としての一年間、各地でロータリアンがさまざまな方法で平和のために貢献する様子を目にしてきたことに触れ、平和について考えるよう参加者に促しました。「ここリスボンでの大会は、世界のあるべき姿を知る一つの機会となります。世界をより良くするために、全大陸から集まった人々が、互いの違いを越えて、真に重要なことに取り組むことができます」

その他の大会ゲスト

大会初日には、田中会長に加え、ポルトガルの社会保障相であるペドロ・モタ・ソアレス氏も講演し、平和構築やポリオ撲滅活動におけるロータリアンの貢献を称えました。「ロータリーが取り組む重要課題は、ポルトガルにとっても、またほかの国々や世界にとっても、重要な課題です。ロータリアンは私利私欲よりも、世界のためになることを優先させています。私たち政治家も、もっとこの姿勢を学ぶ必要があります」

開会本会議の締めくくりには、4人組のヴォーカル・グループ「イル・ディーヴォ」がパフォーマンスを披露しました。4人とも異なる国出身(スイス、スペイン、フランス、アメリカ)のメンバーたちは、互いの違いを乗り越えて共通の目的のために協力するという点で、ロータリーと共通していると話しました。

出席したロータリアンの声

本会議に出席したロータリアンからは、平和について考える声が聞かれました。米国のロータリアン、ビル・トンプソンさん(ポートオレンジサウスデイトナ・ロータリー・クラブ所属)は、平和に重点を置いたことはとてもよかったと話します。「特に今、世界各地で紛争が続いている状況ですから、ロータリーのような組織が活動し、変化をもたらそうとしていることを心強く思いました」

ジンバブエのロータリアン、アサーム・ムソンザさん(グエル・ロータリー・クラブ所属)は、闘争の絶えない母国について触れ、次のように話しました。「平和は大切なテーマです。平和とは単に村同士が争わないだけでなく、心の平和も意味します。人々の心が平和であれば、人と争いたいとは思わないはず」

例会のご案内

■今週の行事 8月29日(木) なごやか例会

■次週の行事 9月4日(水) ガバナー訪問

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル16階
タワーズボールルーム

時 間：12:30~13:30

■9月5日(木) 振替のため休会

国際ロータリー・ニュース

リスボンで2013年ロータリー国際大会が開幕

2013年6月23日(日)、ポルトガルのリスボンでロータリー国際大会が開幕しました。かつての大航海時代には、世界を“発見”しようと、多くの探検家がここリスボンの港から出航しました。それから数百年の時を経た今、本国際大会のために世界各地からロータリアンとその家族や友人が集まり、大会開会の国旗入場で225の国や地域の旗が掲げられました。

田中会長による講演

「平和の港、リスボン」をテーマとする本大会のステージではこの日、平和を中心としたプログラムが行われました。本年度を通じて「奉仕を通じて平和を」と呼びかけてきた田中作次RI会長は、ラジオで昭和天皇の終戦宣言を聞いた少年時代から、ロータリーを通じて平和と奉仕の関係を意識するようになるまでを語りました。「日本は戦争に勝つために総動員でしたが、(終戦の)あの日から、再建に向けて、つまり、平和という日本の新たなアイデンティティに向けて動き出すことになりました」

八潮ロータリー・クラブに入会して、「超我の奉仕」という理念を学んだという田中会長。「ロータリーを通じて私が理解できたこと、それは、自分が働く意味は、人々に幸せを与えるためだということです。自分の利益のためだけでなく顧客のニーズに尽くしたいと考えました。そうすることで顧客の満足につながるだけでなく、会社の従業員の生活も良くなります。私は今では、前とは異なる観点でビジネス